

平成22年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 岩 谷 政 良

市 民 ク ラ ブ 花 田 清 美

フ ォ ー ラ ム 2 1 佐 原 孝 夫

公 明 党 成 沢 淳 子

社 会 ・ 市 民 連 合 藤 田 正 義

共 産 党 加 賀 屋 千 鶴 子

秋 水 会 工 藤 四 郎

秋 水 会 小 木 田 喜 美 雄

1 市長の政治姿勢について

(1) 次期総合計画について

- ア 成長戦略において、どのような具体的目標を設定するのか
- イ 地域のきずなづくりの今後の方向性について

(2) 行政改革の推進について

- ア 「新しい公共」を次期行政改革大綱に位置づけるねらいについて
- イ 今年度の事務事業評価の成果はどうであったのか、また、その成果を次期総合計画等にどのように反映させるのか

2 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) どのような考え方に基づいて4年制大学化を本格的に検討しようという決断に至ったのか

(2) 本市全体にとって、どのようなメリットがあると考えているのか

(3) 4年制大学化に向けた財政負担について

- ア 他都市における4年制大学化の事例について
- イ 財政負担の抑制に向けた取り組みについて
- ウ コストが増大することをどのように認識しているのか、また、どの程度まで財政負担が可能と考えているのか

3 新庁舎建設基本構想について

(1) 新庁舎のグランドデザインをどのように考えているのか

(2) (仮称)中央市民サービスセンター及びサンパル秋田の整備方針について

4 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 事業全般に関する現在の進捗状況について

(2) 建設工事に際する地元事業者の協力会社採用に関して、どのような状況になっているのか

(3) 商業施設に関するテナントミックスの状況について

5 防災対策について

- (1) 本市における避難勧告の基準及びマニュアル整備の状況について
- (2) 地域への情報伝達はどのように行うのか
- (3) 本市の危機管理体制及び今年度新設した危機管理監の役割について

6 教育環境について

(1) 全国学力・学習状況調査について

- ア 昨年度の他県からの視察数及び本市の取り組みに対する視察者の評価について
- イ 今年度の調査結果の概要はどうか、また、今後、調査結果を本市教育にどのように生かしていくのか

(2) 秋田商業高等学校の将来展望について

- ア 人材育成を含め、今後、どのような学校づくりを目指していくのか
- イ 大学進学を含め、多様化する進路志望にどうこたえていくのか
- ウ 商業専門校として、商業教育をどのように具体的に展開していくのか

(3) 市立小中学校へのエアコン設置について

- ア 小中学校のエアコン設置状況はどうなっているのか
- イ 体調不良の児童生徒等が利用する保健室にエアコンが必要と考えるがどうか

7 公共交通機関について

- (1) 効率的なマイタウン・バスの運行について
- (2) 路線バスへの補助金とマイタウン・バスへの負担金に対する認識について
- (3) マイタウン・バスの路線の延伸に関するバス事業者との協議状況について

(4) 既存の公共交通機関を併用した高齢者のための新たな交通機関の検討について

8 住宅リフォーム支援について

(1) 地域経済への波及効果を図るため、住宅リフォームに対する助成制度を創設すべきではないか

1 財政について

- (1) 予算編成の考え方について
- (2) 中・長期的な財政の見通しについて

2 家庭系ごみの有料化について

- (1) 制度の概要について
- (2) 市民合意の形成について
- (3) 手数料収入の見込み及びその積算根拠について
- (4) 手数料収入の活用について
- (5) 低所得世帯等への対応について
- (6) 不法投棄対策について

3 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

- (1) 短期大学が芸術と文化を生かしたまちづくりに対して、いかに寄与してきたのかを検証し、市民に対して説明すべきではないか
- (2) 過去3年間に短期大学の運営にかかった一般財源の金額について
- (3) 全国的に大学経営が厳しい中、学生の確保はどのように行うのか、また、4年制大学化後の財政負担の財源根拠はどうするのか
- (4) 芸術と文化を生かしたまちづくりと商工業の発展をどのようにリンクさせていくのか

4 社団法人秋田市シルバー人材センターについて

- (1) 着服事件の調査は終了したのか
- (2) 被害について、弁護士と相談の上、速やかに警察に被害届を提出し、また、民事訴訟を含めた対応をとるとのことであるが、その見通しはどうか
- (3) 今後の運営方針について

5 秋田拠点センターアルヴェ管理組合について

- (1) 管理組合業務の委託料の積算根拠について
- (2) 管理組合の運営資金が着服されたが、なぜ資金不足が生じなかったのか
- (3) 管理組合として独自の監査及び調査は行わないのか
- (4) 被害届を管理組合が直接提出しないのはなぜか
- (5) 今後の監査体制について

6 財政援助団体等に対する監査体制について

- (1) 事業実施報告及び収支報告は適正になされているのか、また、その内容をどのようにチェックしているのか
- (2) すべての財政援助団体に対し、過去の支出分を含め監査等を実施すべきと思うがどうか
- (3) 不適正な支出をなくすために、監査体制を強化し、専門の監査室等を設置すべきではないか
- (4) 補助金等の交付に関する条例を制定すべきではないか

7 南部地域の諸課題について

- (1) (仮称) 南部市民サービスセンターについて
  - ア 着工時期及び規模について
  - イ 既存施設の活用を含め、次期総合計画の中で整備方針を示すとのことであるが、方針が大きく変わったのか
- (2) 秋田県農業試験場移転跡地の活用について
  - ア 県とどのような検討が行われているのか
  - イ グラウンドゴルフ場の整備を検討すべきではないか
- (3) 横山金足線から国道13号に通じる生活道路の早期着工について
  - ア 仁井田仲谷地五十五枚線の具体的な着工時期について

1 市 政 経 営 に つ い て

(1) 副 市 長 に つ い て

ア 石井・中川両副市長は、穂積市長の市政経営に対して、どのような色、音、風、香りを感じているのか

イ 石井副市長は、任期を2年残して県に戻られると聞き及んでいるが、それは事実なのか、また、県に戻る時期などについて、初めから取り決めがなされていたのか

(2) 人 事 に つ い て

ア 国や県などから、市の幹部職員として人材を受け入れているが、市職員も幹部職員として出向させるなど、同格同等の人事交流を推進すべきと思うがどうか

イ 職員は適材適所に配置され、能力を十分に発揮できているのか、また、業務内容に見合った人員配置となっているのか

(3) 職 員 の 地 域 貢 献 に つ い て

ア 市職員の地域貢献活動への参加率はどのような状況なのか、また、主にどのような活動に参加しているのか

(4) 為 替 変 動 が 本 市 に 与 え る 影 響 等 に つ い て

ア 昨今の円高が本市経済や市民生活に及ぼす影響をどう認識しているのか

イ 為替変動が本市の財政に与える影響を数値としてある程度予測することはできるのか

ウ 為替変動が本市に与える影響を常に念頭に置きながら職務を遂行すべきと思うがどうか

(5) 市 町 合 併 後 の 諸 課 題 に つ い て

ア 地域審議会、河辺地域振興株式会社、株式会社雄和振興公社及び財団法人雄和環境保全公社について、今後のあり方をどのように考えているのか

イ 合併時の理念は、現実に生かされているのか

(6) 歳入の増収対策と地域経済の活性化について

- ア 市有地に駐車する職員からの駐車料金徴収について、現在の取り組み状況はどうか
- イ 22年度を「観光元年」と位置づけた意義は何か、また、カジノ構想を取り入れ、さらなる集客を図り、地域経済の活性化と歳入増につなげるべきと思うがどうか
- ウ 地方たばこ税が消費地に納入されるよう、市として何らかの取り組みをしているのか
- エ 歳入の増収を図るため、新たにどのような取り組みをしているのか

(7) 指定管理者制度について

- ア 指定管理者運用庁内協議会と各部局の候補者選定委員会との関係について
- イ 各施設の所管部局が指定管理者の候補者を選定するのはなぜか
- ウ 指定管理者の候補者の選定は、庁内一律に同じ選定委員が関与すべきと思うがどうか、また、指定管理者の候補者の選定に関することを部長共通専決事項とすること自体に大きな問題があるのではないか
- エ 指定管理者の候補者の選定については、最終的に市長の責任になると思うがどうか

(8) 行財政改革の一環で民間に移管した交通事業とガス事業について

- ア 交通事業の移管後における本市公共交通の状況をどうとらえているのか、また、現実として、市民生活の利便性はよくなったと認識しているのか
- イ ガス事業の移管が地域経済に与えた影響をどうとらえているのか、また、ガス事業に関連していた工事業者の現状はどうか
- ウ 両事業の移管により、行財政改革という所期の目的を計画どおり達成できたのか、また、移管後の検証を行い、市民も含めた報告を行ったのか



## 2 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 事業の成立性等にまだ疑問が残る本事業は、取りやめるべきと考えるがどうか
- (2) 本事業が所期の目的を達成できなかった場合、責任の所在は、計画を断固推進した市当局にあるのか

## 3 港湾を取り巻く諸課題について

### (1) 重点港湾の指定を受けた秋田港の今後について

- ア 「秋田県環日本海交流拠点構想」から「秋田県東アジア交流推進構想」へとシフトした具体的な意図をどうとらえているのか
- イ 今こそ他港との地域間連携が重要であると思うがどうか
- ウ 日本海側拠点港湾指定に向けての本市の考えはどうか
- エ 中国東北部の延辺朝鮮族自治州延吉市とは、元市長、前市長からの親書を携えて交流してきた経緯があるが、今こそ当時のつながりを活用し、交流を促進していくべきではないのか
- オ 市職員を日本海対岸の都市に長期にわたって派遣し、人づくり、情報発信、地域や各界との交流を推進すべきではないか

### (2) 小型船舶の係留について

- ア 現在、秋田港及び秋田運河には、何隻の小型船舶が係留されているのか、また、小型船舶の用途別の内訳はどのようになっているのか
- イ 秋田マリーナにおける船舶の係留能力は何隻か、また、係留料金は幾らで、料金の助成制度や減免制度などはあるのか
- ウ 暫定的に行われている秋田港及び秋田運河での小型船舶の係留期限を延ばすよう、県に働きかける考えはないのか
- エ 小型船舶は、今後も増加が予想されるが、係留について抜本的な解決策を講じるよう、県に働きかけるべきではないか

## 4 平和の尊さの認識と平和行政の推進について

- (1) 土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典で子供たちが発表する姿を実際に

見て、今後の平和に関する教育に役立てるため、同式典に教育委員会の関係者も出席すべきと思うがどうか

(2) 子供たちが命の尊さや恒久平和について見聞をより広められるよう、広島市や長崎市などの平和祈念行事に参加させる考えはないか

(3) 秋田市戦没者追悼式・平和祈念式典を戦後65年にしてようやく市主催で開催したのはなぜか

(4) 平和市長会議について

ア 今後、加盟都市の一員として、どのように取り組んでいくのか

イ 県内の市町村においては、平和市長会議に加盟していないところもあるが、県都の首長として、加盟を呼びかける考えはないのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 国の経済対策に対する市長の見解について

2 行政改革について

(1) 事務事業のゼロベースからの見直しなど、歳出削減の具体的な取り組みについて

(2) 危機管理体制の強化は、どのような想定のもとに体制づくりをしていくのか

(3) 人事評価制度の見直しに当たり、観光・スポーツ関連ボランティアや消防団、町内会等といった地域貢献活動への参加を促すことや、参加した頻度や内容に応じて評価していくシステムを取り入れるべきではないか

(4) 窓口サービスの改善について、市民が気持ちよく市役所が身近に感じられる接遇など、ハード・ソフト両面からの検討が必要ではないか

(5) 市民サービスセンター構想の着実な推進とあわせて、公民館、地域センター及びコミュニティセンターのあり方や管理運営方針を明確にしていくべきではないか

3 高齢者所在不明問題等について

(1) 高齢者所在不明問題の原因と今後の対応について

(2) 本市が目指す家族・地域の絆づくりをどのように進めていくのか

4 介護保険制度について

(1) 公費負担割合を5割から6割へ引き上げ、介護保険料を抑制する施策を国に強く求めていくべきではないか

(2) 本市独自の施策として、一定期間介護保険を利用しなかった元気な高齢者に対する介護保険料の軽減等を検討すべきではないか

(3) 4年目を迎えた地域包括支援センターの検証と今後の課題について

## 5 がん対策の取り組みについて

- (1) 今年度は、女性特有のがん検診受診率向上策として、どのように取り組んでいるのか、また、思い切った発想の取り組みが必要ではないか
- (2) 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成を早期に検討すべきではないか
- (3) 75歳以上の前立腺がん検診の無料化を検討すべきではないか

## 6 食育について

- (1) 秋田市食育推進計画の策定を検討すべきではないか

## 7 観光振興について

- (1) ノースアジア大学との観光に関する連携協定における、連携プログラム9項目の今後の具体的な取り組み内容について
- (2) 学生をボランティアに活用し、各観光施策へのかかわりを推進していくべきではないか
- (3) 市内観光に特化した交通手段や、広域観光の中心地としての事業を考えるべきではないか
- (4) 公用車を活用した秋田市観光PRについて
- (5) みなとオアシスあきたにぎわいプランについて
  - ア 本プランの計画推進について
  - イ 周辺施設との連携には、市民や観光客がより利用しやすい機能強化が必要ではないか
  - ウ 国道7号から道の駅への早期道路網整備を県に働きかけるべきではないか

## 8 教育行政について

- (1) 新学習指導要領について
  - ア 完全実施に伴い、移行期間中に課題となった事項は何か
  - イ 外部人材の活用やOB教師等のサポート体制をもっと充実させるべきではないか

(2) 小中併設校の課題と今後の対応について

(3) 教員採用試験について

ア 全国共通適性検査の導入について、教育長の考えはどうか

イ 本県教育委員会と東京都教育委員会が、本年2月に締結した「小学校教員採用選考の連携協定」について、教育長の考えはどうか

## 9 災害対策について

(1) 秋田市医師会と締結した災害時における応急医療救護活動に関する協定について

ア 協定内容の概略について

イ 協定締結により、秋田市地域防災計画に見直しが必要な項目はないのか

(2) 防災学習施設整備の検討内容について

(3) 水害対策について

ア 今夏の局地的豪雨による主な被害とその後の対応について

イ 県道上新城土崎港線の道路冠水対策として、抜本的な整備を考慮すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 地方自治体のあり方について

ア 新政権下の1年間において、政府と地方自治体との関係はどのようなものであったと認識しているのか

イ 政権交代やねじれ国会に翻弄されないために、地方自治はどうあるべきと考えているのか

2 秋田市総合計画について

(1) 次期総合計画の特徴的なものは何か

(2) 第11次秋田市総合計画からどのような変更をしたのか

(3) 大型事業が多数予定されている中で、次期総合計画の計画期間である今後5年間の財政計画はどうか

3 財政について

(1) 市税の未収金は恒常化しており、税外収入においても多額の未収金があるが、このことをどう認識し、どのように取り組んでいくのか

4 環境問題と家庭系ごみの有料化について

(1) 家庭系ごみの有料化について

ア 資源化物の分別や生ごみの水切りの徹底について、もっと強力に推し進めるべきではないか

イ 家庭系ごみ排出目標値を達成できれば、ごみの有料化はしなくて済むのか

ウ 秋田市廃棄物減量等推進審議会の答申に対し、どのような検討を行ったのか

(2) 新たな対策として、市、事業者、市民団体によるレジ袋削減に向けた自主協定の締結を目指しているが、今後どのように進めていくのか

## 5 事業仕分けについて

- (1) 効率的な行財政運営を行うために、事業仕分けに消極的であってはならないがどうか

## 6 がん対策について

- (1) がん検診の受診率が低いことに対する認識と検診受診率向上のための対策について
- (2) がん検診受診者の精密検査未受診防止に対する取り組みについて

## 7 新型インフルエンザについて

- (1) 最初の流行は沈静化した但、これまでの対応についてどのような検証が行われたのか

## 8 国民健康保険について

- (1) 国民健康保険税の滞納が恒常化している現状に対する認識について
- (2) 国民健康保険税の減免制度の周知と速やかに減免申請できる体制の整備について
- (3) 国民健康保険税の急激な引き上げが想定される場合は、一般会計からの法定外繰り入れを行う必要があると考えるがどうか

## 9 生活保護について

- (1) 生活保護を受ける人がふえている現状についてどう認識しているのか
- (2) 稼働年齢層に対する申請後の就労指導及び保護適用後の就労支援について
- (3) ケースワーカーの増員などの体制充実について

## 10 学校の統廃合と廃校後の校舎の利活用について

- (1) 既に統廃合を終えた学校では、その経過においてどのような問題点があったのか、また、対象となっている学校に対して、今後どのような

に取り組んでいくのか

(2) 廃校後の校舎の利活用の検討状況について

11 市職員の地域活動への参加について

(1) よき隣人としての市職員の地域活動への参加状況はどうか、また、地域活動への参加を積極的に促すべきではないか

12 新成人のつどいについて

(1) 新成人のつどいの見直しについて

13 まちづくりについて

(1) 中心市街地活性化基本計画を進めるに当たって、中心市街地を取り巻く環境が年々厳しさを増していることに対する認識はどうか

(2) 人口が集中している地域と過疎化が進行している地域が併存している問題についてどう認識し、どのように対応していくのか



1 市長の政治姿勢について

(1) 地域主権と市民協働・都市内地域分権について

ア 民主党政権が推進する地域主権改革の内容は、住民の基本的人権の尊重、地方自治と地域経済の持続的発展を阻害すると思うがどうか

イ 住民自治の意識が高まるように、町内会、NPOなど地域に根ざす団体、個人がそれぞれの役割を尊重しつつ、地域協働の活動ができるよう、市としての働きかけ、支援を強化すべきではないか

(2) 一連の市の業務にかかわる不祥事について

ア 市の補助金にかかわる不祥事などについて、市長はどうとらえているのか

イ 市長は、不祥事再発防止のための対策に率先して着手すると同時に、職員が誇りと規律を持って仕事ができる職場環境をつくるため、指導力を発揮すべきと思うがどうか

2 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 4年制大学移行により、どのような大学を目指そうとしているのか、また、その結論に至った経緯はどうか

(2) 市民が本学に何を求めているのかなどを含め、市民の意見を聞くと同時に、拙速に結論を出さず、十分な時間をかけた議論が必要と思うがどうか

3 地域経済の振興について

(1) 地域内経済循環力を高める対策について

ア 経済団体、経営者・事業者、研究機関、大学やJAなどに呼びかけ、産業振興の政策づくりに向けたチームとしての体制を、市がイニシアチブをとって進めるべきと思うがどうか

イ 中小企業振興条例の制定を検討すべきと思うがどうか

(2) 建設業を初め、関連業種にも経済効果が見込まれる住宅リフォーム助成制度を市として今こそ実施すべきと思うがどうか

(3) 野菜生産の振興について

ア 生産目標と販売目標を明確に示し、段階的に目標水準の向上を図るとともに、JA等と協力し、小規模農家を含め、野菜生産農家をふやすための働きかけを強化すべきと思うがどうか

イ 野菜生産農家をふやすため、地域の学校、保育所、福祉施設などに納入できる農家のネットワークづくりを推進すべきと考えるがどうか

ウ 野菜生産農家と市民の交流を企画するなど、定年帰農者や新規就農者をふやすための取り組みを積極的に進めるべきと考えるがどうか

(4) 市の負担で学校給食に米粉パンの回数をふやし、米粉の消費拡大と普及に努めるべきと思うがどうか

(5) 米価暴落への対策について

ア 緊急に備蓄米40万トンを買入れるなどの需給調整を行うよう、国に対して強く求めるべきと思うがどうか

イ 農家への緊急補助や無利子融資について、国や県に要望すると同時に、市としても対策を検討すべきと思うがどうか

4 子ども・若者育成支援推進法の具体化と発達障がい者の支援について

(1) 子供と若者の自立支援について

ア 自立支援を推進するため、所管課を明確にし、引きこもりの調査や支援施策などを総合的に掌握、連携できる体制を構築すべきと思うがどうか

イ 関係機関や支援団体に働きかけて「子ども・若者支援地域協議会」を設置し、引きこもり、ニートなどの実態把握や支援計画の策定を行うべきと思うがどうか

ウ 引きこもりなどについて、市民と一緒に理解を深め、支援が充実するよう、講演会の開催など啓発に努めるべきと思うがどうか

エ 支援者活動を支援するとともに、地域との連携の円滑化のため、若者自立サポーターを養成して、地域活動の体制を強化すべきと思うがどうか

(2) 発達障がい者の支援のため、軽作業やレクリエーションなどの体験を通じ、社会的自立につながる支援を受けることができる場を市として設置すべきと思うがどうか

5 市の業務にかかわる官製ワーキングプアをなくすための対策について

(1) 公契約条例を制定し、市にかかわる業務における賃金・労働条件を保障すべきと思うがどうか

(2) 雇用・賃金の確保及び地域経済振興などの観点から、指定管理者に関する条例及び制度の運用を見直しすべきと思うがどうか

6 家庭系ごみの有料化について

(1) ごみの有料化ではなく、ごみ減量のための方策を徹底すべきと思うがどうか

(2) 市民の理解と協力が必要と言いながら、市民の声を十分に聞かないまま、有料化を進めようとしたことは、拙速過ぎると思うがどうか

1 秋田市総合計画について

- (1) 総合計画は、市長の交代や再任のたびに変更しなければならないのか
- (2) 新たに次期総合計画を策定しなければならない状況として、どのような要因があるのか
- (3) 第11次総合計画の基本構想をどのように総括し、次期総合計画にどのように反映するのか
- (4) 次期総合計画で定める計画期間の設定理由と、総合計画が短期間で変更とならない計画策定の手法について

2 佐竹知事と穂積市長の公約について

- (1) 市長は、佐竹知事のマニフェストに対する昨年度の取り組みをどのように評価しているのか
- (2) 市長公約について
  - ア 市長公約に対する昨年度の取り組みをどのように自己評価しているのか
  - イ 市長公約を次期総合計画にどのように反映させるのか
  - ウ エイジフレンドリーシティ構想の実現に向けた取り組みについて

3 新庁舎建設について

- (1) 新庁舎建設のスケジュールはどうか、また、建設に係る事業費やその内訳が明らかになるのはいつか
- (2) 新庁舎建設工事のすべてを地元業者に発注すべきと考えるがどうか

4 職員の地域貢献について

- (1) 市職員による積極的な地域貢献・地域支援を進めるため、職員と地域とのかかわりをどのように推進していくのか
- (2) 従来的人事評価制度に、職員の地域貢献度・ボランティア活動など

の評価項目を加えるべきではないか

## 5 市営墓地について

- (1) 現在使用可能な市営墓地はどのくらいあるのか、また、北部地区で新たに進められている墓地整備の進捗状況はどうか
- (2) 市営墓地の新たな形態について
  - ア 合葬式共同墓地のあり方について
  - イ 環境に優しい墓地として、墓石にかえて樹木を墓標にする樹木葬について

## 6 雄物川のごみ対策について

- (1) 雄物川のごみの問題に対する、流域の自治体との緊密な連携について
- (2) 雄物川を管轄する国土交通省と連携した、積極的な対応の検討について
- (3) 雄物川へのごみの不法投棄対策について

## 7 使用済み小型家電リサイクル事業について

- (1) 溶融炉から生ずる溶融スラグ・メタルの分析について
- (2) 溶融炉から生ずる溶融スラグ・メタルはどのように活用されているのか
- (3) レアメタルが含まれている小型家電のリサイクルに、今後どのように取り組んでいくのか

## 8 農林水産業の振興について

- (1) 秋田市農林水産業・農村振興基本計画の見直しについて
  - ア 見直しの方針について
  - イ 重点的に取り組む事項について

1  市政運営に対する市長の基本姿勢について

(1) 次期総合計画について

ア  市長の政治経験と 생각이、次期総合計画策定に当たって生かされた点は何か

イ  本市の成長戦略の独自性・特色をどう確立するのか

ウ  総合計画を市民と共有していくため、市民に何を求め、何を訴えていくのか

(2) 県都秋田市として、県と連携すべき政策をどのように進めていくのか

(3) 経済・雇用対策における課題の整理と今後の対策について

(4) 今後の国政の動向をどのように受けとめ、本市への影響をどう考えているのか

2  環境行政について

(1) 地球温暖化対策について

ア  環境施策の推進に当たり、地球温暖化対策をどのように位置づけていくのか

イ  地域経済・産業の活性化や雇用の創出が期待できる、再生可能エネルギーの導入を積極的に進めるべきではないか

ウ  改正省エネルギー法が求めるエネルギー使用量の削減に向けた、本市の取り組み状況はどうか

(2) 家庭系ごみの有料化について

ア  この時期に家庭系ごみの有料化を実施しようとする目的は何か

イ  手数料収入をどの程度と見込んでいるのか、また、その手数料収入をどのような施策や事業に活用するのか

(3) ごみ処理施設について

ア  今後、ごみ処理施設をどのように管理運営していくのか

イ  家庭系ごみの有料化などにより、ごみ処理量が減少し、溶融施設

の能力に余裕が生じた場合、一般廃棄物以外のごみなどの処理に有効活用する考えはないか

### 3 観光政策について

- (1) 本市観光の目指すものは何か、また、具体的な戦略などを示すべきと思うがどうか
- (2) 財団法人秋田観光コンベンション協会及び観光関連企業との連携による施策の推進について
- (3) 関係部局と連携した観光ルートづくりを行うべきではないか

### 4 秋田市エイジフレンドリーシティ構想の推進について

- (1) 実現に向けた基本的考え方と目指すものは何か
- (2) 世界保健機関（WHO）が提唱している8つのトピックの検証をどのように行うのか
- (3) 本市は都市部、農村部及び住宅地など、さまざまな都市形態があり、それぞれの課題をどのように構想に反映させるのか
- (4) 秋田市エイジフレンドリーシティ構想推進庁内連絡会及び秋田市エイジフレンドリーシティ構想推進協議会の取り組み状況と成果の見通しについて
- (5) 秋田市エイジフレンドリーシティ構想の名称を市民がわかりやすいように変更してはどうか

### 5 中央卸売市場の地方卸売市場への転換について

- (1) 地方卸売市場への転換時期を延期した経緯はどうか、また、さらに延期することはないのか
- (2) 地方卸売市場への転換に伴い、指定管理者制度を導入した場合、市や市場関係者にどのようなメリットがあるのか
- (3) 地方卸売市場への転換に伴い、市民に直接的なメリットはあるのか
- (4) 花き部が地方卸売市場へ転換しない理由は何か、また、開設者として不都合はないのか

## 6 中心市街地の活性化について

(1) 中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

(2) 中通一丁目地区と秋田駅前地区の一体的活性化策について

ア 駅前からの大屋根を延長できないのか、また、広小路のアーケードを存続させる支援策も考えるべきと思うがどうか

イ 中通一丁目地区と千秋公園を一体化させるための歩行者動線をつくるべきと思うがどうか

## 7 地域の諸課題について

(1) 古川改修事業の今後の見通しについて

(2) 旧農業試験場跡地の利活用について

ア 緑地公園、グラウンドゴルフ場及び野球場等を有する多目的広場などの整備について、県に提案し、協議してはどうか

イ 仁井田スーパー農園内に（仮称）南部市民サービスセンターを設置できないか